



走り初め会でジョギングを楽しむ参加者達

おはようジョギング

「コース走り初め会」

市民500人が参加

毎号とじこんでください。きつとお役に立ちます。

天皇誕生日の四月二十九日、おはようジョギングコースの走り初め会が行われ、

子供から年輩の方まで市民約五百人が参加しました。

このコースは、市民の健

康と体力の増進を図るために、いつでもだれでも利用できるように市教育委員会

が「健康はまず走ることから」を提唱し設定したもので、今年で十年目で、五十三年から設定していたコースを、交通量等の事情で今年から市役所裏の岩木川河川敷を、川の流れに沿って走るコースに変更しました。

このコースは、岩木川原の静かな環境にあり、ジョギングには絶好の場であることから、多くの市民に利用されています。

西に雄大な岩木山を、東に街並みを眺めながらの全長三千餘(片道千五百餘)のコース。参加者は午前六時、早朝のすがすがしい空気を胸いっぱい吸い込んでスタート地点に集合。

走り初めに先立



記念ワッペン

市民憲章 (昭和59年10月1日制定)

わたくたちの先人は、不撓不屈の五所川原魂をもってあらゆる困難を克服し新田を切り開き、今日の活力に満ちた五所川原市を築き上げました。

わたくしたちは、この伝統を継承し、広い視野に立って西北津軽の人々と協調し、郷土の限らない発展を願って、ここに市民憲章を定めます。

- ◎心身ともに健康で、明るい家庭をつくります。
- ◎自然を大切にし、力を合わせて花と緑の美しいまちをつくります。
- ◎平和を愛し、きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- ◎文化を尊び、生涯学習をもとに心豊かな人をつくります。
- ◎未来に夢を持ち、創意と実践により栄えゆく郷土をつくります。

昭和62年

№.639

5-15

活力と潤いのあるまちをめざして

— 63年度の重点事業を国・県に要望 —

西北津軽の隆盛は、本市の発展と密接不可分の関係にあり、本市は津軽西北五地域広域市町村圏(五所川原市を中心とした一市六町七村)の中心都市としての都市機能の充実を期していかなければなりません。

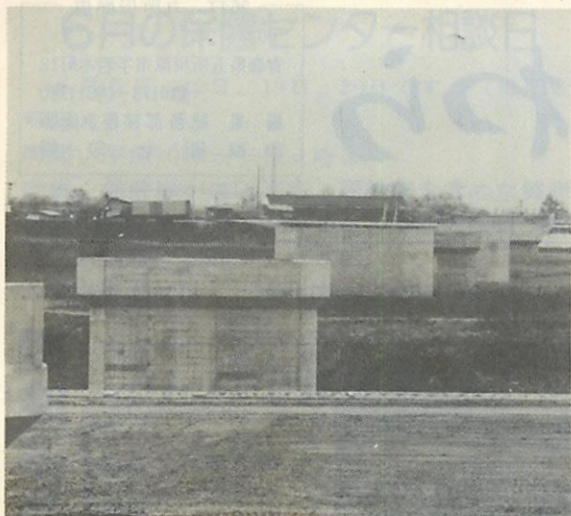
二十一世紀を展望するとき、調和のとれた産業の発展、特に工業の振興と道路、農道、河川等の都市基盤の整備

が緊急かつ重要な課題となっています。

市では、本市のみならず西北津軽の発展に不可欠な事業をとりまとめ、関係方面にその促進を強く働きかけていきます。

その中から主なもの七件を簡単に紹介いたします。

五所川原大橋建設事業



五所川原大橋の建設現場

本市の市街地と西郡は、一級河川の岩木川で分断されていますが、この両地域を結ぶ橋は現在のところ乾橋一本しかありません。

これに加えて、国道一〇一号と三三九号が市街地を縦貫しているため、交通量の増大に対処しきれず慢性的な交通渋滞をきたし、市民のみならず西北地域住民の生活や産業の振興にブレーキとなっているのが実情です。

これは、都市防災上からみても大変危険なことです。

そこで、乾橋上流約一キロの地点に橋を建設し、交通渋滞を緩和しようとする和五十四年度からこの事業(県が実施)が進められてきました。

現在までに橋脚と橋台が完成しており、本年はいよいよ橋桁の製作に入り、併せて右岸、左岸の取付道路に着手する計画です。

全体の完成は、六十四年度が見込まれていますが、一日も早い完成を要望するものです。

克雪タウン計画

事業の指定

本市の冬は、地吹雪が強く積雪量も多いため年間の除排雪費はおよそ一億五千万円から二億円費やされています。

今後、本市の雪対策としては、これまでの機械中心の除排雪から流雪溝、融雪溝設置の可能性や屋根雪の

処理、宅地周辺の消雪などの方法の検討と、さらに市民協力による雪対策のコンセンサスを高め、冬を快適に過ごす街づくり、住まいづくりの早期実現を図るため、本事業の指定を要望するものです。



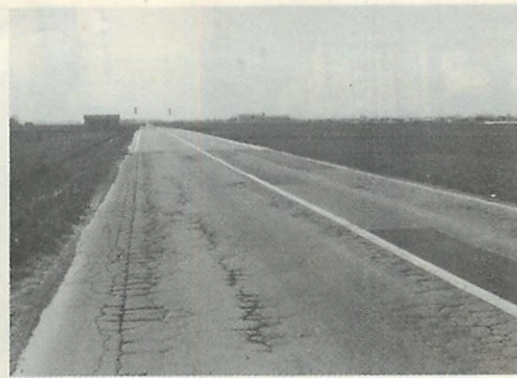
大雪の市街地風景

農道空港調査地区の指定

本市の畑作振興は、水田利用再編対策の実施以来、

政策課題のひとつとして幾度も検討されてきたところ

です。



本市東部を縦貫する広域農道

また、近年高度な技術を要するイチゴの生産や花き栽培が産地化されるなど、本市の畑作振興の方向づけがなされつつあります。このことから、農協などの指導のもとに系統共販体

制の強化等による販売力の向上を図り、さらに価格対策として、また地理的条件を克服するためにも「フライト野菜」を実施することは、本市農業に活力を与えるとともに西北地域の畑作振興の活性化に結びつくものといえます。

今後、本市の広域農道を利用して農産物の輸送拠点としての農道空港の早期実現を図るため、調査地区として指定されるよう要望するものです。

日本海沿岸縦貫自動車道の建設促進

西北地域は、高速交通網整備の立ち遅れから、人口の減少、過疎化現象が進行しています。

このため、現在策定作業が進められている第四次全国総合開発計画の中に具体的にその建設を組み込むと

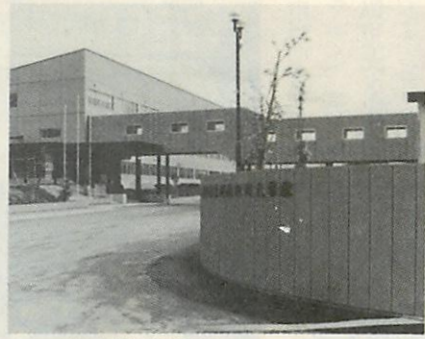
ともに、本年中に策定が予定されている高規格幹線道路網計画に組み入れ、整備を図るよう、またそのルートは、県内においても日本海沿岸を通り、本市を経て終点を青森市とするよう要望するものです。

なお、着工にあたっては、青森・五所川原間を優先するよう併せて要望するものです。



青森職業訓練短期大学校に「情報システム科」の新設

情報システム科の新設



青森職業訓練短期大学校

青森職業訓練短期大学校は、各々二十名の定員で生産機械科、金属成形科、電子科、建築設備科の四科があり、卒業生を送り出して二年目をむかえました。本校は、社会的進展とともに積極的な教育姿勢をと

り、地域の評価を高くしているところ。近年、本市をはじめとして鶴田町、中里町、市浦村などに立地しているハイテク産業の一層の推進を図るため、また、高度情報化時代に対応したソフト技術者の不足を補うためにも、本校に「情報システム科」の新設を要望するものです。

津軽北部地区広域営農団地農道整備事業

この事業(県が実施)は、本市から木造町を経て車力村に至る延長約十二キロの基幹的な農道を整備するもので、昭和五十七年から進められています。

現在、市内田川と木造町芦屋間の岩木川に橋(新津軽大橋)を建設する工事が進められており、これまでに橋脚五基と橋台一基が完成しています。

本年度は橋台一基と上部工桁製作に着手し、六十五年度に完成予定です。

この橋ができると西郡との交流がより円滑になることから、本事業の早期完成を要望するものです。

養護老人ホームの建設

市立養護老人ホーム「くるみ園」(収容人員五十人)は、建築後二十三年を経過し木造補強ブロック平家建のため老朽化が著しく、そのうえ土地、建物とも狭隘のため使用も限度に達しています。

ついては、入所老人の処遇の向上を図り、地域の老人福祉向上に因應するためにも、早急に移転、新築の実現を要望するものです。

まちをきれいに！ 春のクリーン作戦実施中

市では、四月二十四日から「春のクリーン作戦」を開始しました。
これは、各町内会が上げた側溝のゴミや泥を収集処

理して住みよいきれいな環境をつくろうと、町内会連合会、同環境保全指導員、市などが実施しているものです。



クリーン作戦初日、気田町内会連合会長とともに泥やゴミの収集作業をする森田市長(中央)

クリーン作戦初日の午前九時、旧ロータリーに森田市長をはじめ、気田勝治町内会連合会長と同役員、土木事務所や市の職員など合わせて約四十人と、タイヤショベルやダンブーカーなどの車両九台が集合。

クリーン作戦の実施に先立って森田市長は、「活力と潤いのあるまちづくりのため、まちをきれいにする運動が大きな輪になるようがんばりましょう」とあいさつ。

その後、旧ロータリーを中心に国道三三九号線を栄町と敷島町までの二班に分かれ、約二時間にわたって収集作業を行いました。
この区間だけでダンブーカー十台のゴミや泥を収集。
なお、同作戦は五月十七日まで続けられます。



防犯活動は「地域ぐるみ」で 春の防犯運動始まる

春の全国防犯運動が四月二十一日から始まりました。期間は一か月間。
防犯運動の初日、五所川原地区防犯協会と五所川原警察署では、犯罪を未然に

防ぎ平穏な市民生活を守ろうと防犯決起大会を開き、車でパレード、運動の推進を呼びかけました。
大会には、防犯指導隊、婦人防犯部約二百人が出席。



防犯指導隊員の査閲を行う山田署長と小野会長

小野雄蔵五所川原地区防犯協会会長、山田寿夫五所川原警察署長が防犯指導隊を査閲した後、小野協会長があいさつ、山田署長が激励のことは述べました。
引き続き、森田市長が「この運動を契機に、市民一人ひとりの防犯意識をさらに徹底させこの地域から犯罪を根絶しましょう」とあいさつを述べました。

その後、福士孝一五所川原地区防犯指導隊長が「犯罪や事故のない明るく住みよい郷土をつくるため、住民総ぐるみで防犯運動をすすめる」と大会宣言を読み上げました。

続いて、車で市内をパレード、市民に防犯意識の高揚を訴えました。

〈春の防犯運動重点目標〉

- ① 侵入盗、乗り物盗の防止

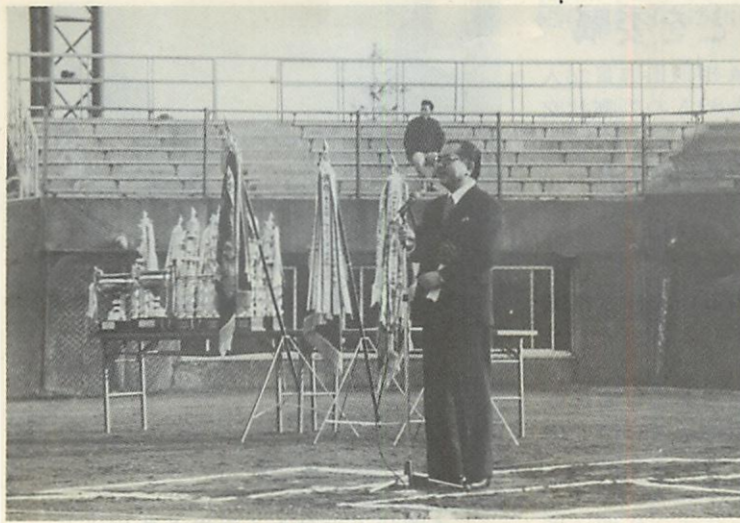
- ② 少年非行の防止

- ③ 覚せい剤および悪質商法の追放

朝野球シーズンの開幕

第二十三回朝野球大会(五所川原朝野球協会主催)の開会式が四月二十九日朝、市営球場で行われました。

午前六時、五十三チームの選手約六百五十人が、色とりどりのユニホームに身を包み、堂々の入場行進。



開会式で祝辞を述べる森田市長

式では、中井整形外科チームなど昨年の各ブロック優勝チームから優勝旗とトロフィーが返還された後、連続十年出場の一三三チームに、感謝状と記念の楯が贈られました。

また、主催者を代表して

中井達郎会長が「今年もグランドマナーをよく守り、正々堂々悔いのない試合をしてください」とあいさつ。引き続き、来賓を代表して森田市長が「フェアプレーの精神に徹し、今シーズンのご健闘をお祈りします」と祝辞を述べました。

その後参加選手を代表して、富田医院チームの一戸明選手が選手宣誓を行い閉会しました。

閉会后、参加各チームの監督によるオールスター戦が行われました。

同大会は、五十三チームが参加し、A・Dの四ブロックに分かれ、五月一日から九月まで五か月にわたり熱戦を繰り広げます。

また同協会では、アフリカ難民を救おうと「アフリカに緑を、愛の一球」をキャッチフレーズに、昭和六十年から募金活動を展開中で、この日も中井会長、森田市長、参加選手などが率先して募金を行いました。

BBS運動40周年 全国縦断キャラバン来庁

非行少年の立ち直りを助ける、BBS運動発足四十周年記念全国縦断広報キャラバンの一行が五月一日、市役所を訪れました。



本市にリレーされたキャラバン車

キャラバンは、四月十二日に北海道をスタートし、キャラバン車をリレーしながら約三か月かけて全国を回り、少年の非行防止やBBS運動の重要性を訴えて行くもので、本県には四月二十九日に函館から引き継ぎを受け、五月四日まで県内を回り広報活動を行う予定です。

この日は、千島昇県BBS連盟会長が法務大臣、木村慶順五所川原地区BBS会長が日本BBS連盟会長のメッセージを読みあげ、森田市長に手渡しました。これに対し森田市長は、

「苦勞さまです。この運動を広げるためがんばってください」とあいさつしました。

その後、キャラバン車による広報と街頭でのチラシ配布を行い、BBS活動への理解と協力を呼びかけ、弘前市へリレーされました。BBS運動とは

(Big Brothers and Sisters Movementの略)

非行に走った青少年たちを友達として助け励まし相談相手となって立ち直らせようとするボランティア活動で大きい兄、姉という意味をもつ団体。

市消費生活モニター決まる



消費生活モニター委嘱状交付式

くらしを取りまくさまざまな問題を直接行政に反映させていくために消費者の代表として、このほど五人の消費生活モニターが決まり四月二十三日、市役所において委嘱状が交付されました。

モニターの仕事は、日常生活用品の価格動向調査、物価問題についての意見や

要望の提出、消費者啓発の協力など、広範囲にわたっています。

消費生活モニターは次のとおりです。(敬称略)

石山正子(中平井町)、
気田幸子(上平井町)、
野榮子(みどり町三丁目)、
対馬舞子(広田)、楠美多子(みどり町五丁目)

「この日は、千島昇県BBS連盟会長が法務大臣、木村慶順五所川原地区BBS会長が日本BBS連盟会長のメッセージを読みあげ、森田市長に手渡しました。これに対し森田市長は、

出稼地域相談指導員などを委嘱

市では4月23日、中央公民館で地域相談指導員26人、出稼相談員29人、出稼留守家庭世話人89人の委嘱状交付式を行いました。

交付式には、森田市長ほか関係者約80人が出席。

地域相談指導員等は、出稼をされている方及びその留守家族が抱えている悩みや問題について相談、助言を行うものです。

交付式では、森田市長が「安全で明るい出稼ぎ推進のため皆さんのご協力をお願いします」とあいさつを述べました。

引き続き、丹代永三郎五所川原労働基準監督署長と齋藤栄五所川原公共職業安定所統括職業指導官が「出稼ぎの現況、労働災害の防止」などについて講話し、式を終わりました。

今回、市が委嘱した方々は次のとおりで、任期は指導員が1年、相談員及び世話人は2年です。



委嘱状を交付する森田市長(右)

地域相談指導員		出稼留守家庭世話人	
新宮町	山川 定助	姥 范	木 村 一 夫
飯 詰	田 中 三千男	広 田 毛	内 弘 一
"	和 島 弘	稲 実 山	田 善 藏
下岩崎	其 田 勤	松野木	横 嶋 誠 一
梅 田	竹 谷 政美	福 山 須	藤 藤 誠 一
"	前 田 公範	高 野 金	谷 由 美
小 曲	長 沢 正美	前 田 野目	大 坂 力 男
"	工 藤 柎 光	羽野木沢	今 喜 代 吉
稲 実	一 加 藤 正 広	毘沙門	田 村 魁 勉
"	間 山 正 司	金 富 山	鳴 海 榎 九 一 郎
松野木	斎 藤 由 雄 一	水野尾	高 橋 信 一
神 山	福 士 英 一 郎	"	高 橋 佐 次 兵 衛
高 野	新 谷 利 雄 英 夫	鶴ヶ岡	長 尾 幸 喜 之 助
羽野木沢	松 川 信 英 夫	藻 川	竹 谷 誠 之 助
長 富	原 田 信 英 夫	桜 田 山	岡 田 富 治 一 郎
"	山 岩 崎 正 美 国 四 郎	"	松 沢 系 一 郎
金 山	唐 笠 柳 野 呂 正 道	桜 田	岡 田 与 一 郎
藻 川	一 戸 村 幸 治 枝 美 幸 一 郎	出稼留守家庭世話人	
"	木 村 開 米 実 明 幸 一 郎	下平井町	田 仲 フミエ
鶴ヶ岡	外 崎 明 幸 一 郎	長 橋 町	和 田 ユキエ
金 山	井 山 留 四 郎 安 信	元 町	小 田 桐 キクエ
川 山	吉 笠 井 安 信	幾島町	岩 谷 ユリ
桜 田	出 稼 相 談 員	飯 詰	太 田 トミ
元 町	木 村 昭 三 郎	"	乳 井 みし
鎌谷町	猪 口 兼 三 郎	"	佐 藤 トシ
下平井町	小 田 桐 久 一 郎	"	鳴 海 マツエ
飯 詰	賀 谷 宝 雄 一 郎	下岩崎	鳴 海 久 子
"	前 田 勘 一 郎	飯 詰	其 田 裕 子
下岩崎	其 田 才 一 郎	"	北 浦 村 花 美 子
梅 田	竹 谷 德 雄 幸 一 郎	"	光 野 村 花 美 子
中 泉	関 幸 一 郎	"	小 野 水 幸 一 郎
小 曲	敦 賀 光 雄	"	船 井 福 井
"		梅 田	福 井
梅 田		梅 田	泉 一 郎
"		中 梅	田 泉 曲
"		小 七	ツ 館 田 姥
"		湊	稲 福 野
"		神 山	松 野 木 戸 高 野
"		"	前 田 野 目
"		持子沢	羽野木沢
"		毘沙門	"
"		"	"
"		長 富	山 成 高 猿 工
"		金 山	竹 谷 ヤ エ
"		竹 土	岐 関 浅 今 成 三 洪 山 藤 鹿 一 三 今 土 須 松 木 高 齋 長 金 品 大 大 長 長 新 伊 沢 山 山 成 高 猿 工
"		梅 中 小	田 泉 曲
"		七 七	館 田 姥
"		湊	稲 福 野
"		神 山	松 野 木 戸 高 野
"		"	前 田 野 目
"		持子沢	羽野木沢
"		毘沙門	"
"		"	"
"		長 富	山 成 高 猿 工
"		金 山	竹 谷 ヤ エ
"		竹 土	岐 関 浅 今 成 三 洪 山 藤 鹿 一 三 今 土 須 松 木 高 齋 長 金 品 大 大 長 長 新 伊 沢 山 山 成 高 猿 工
"		梅 中 小	田 泉 曲
"		七 七	館 田 姥
"		湊	稲 福 野
"		神 山	松 野 木 戸 高 野
"		"	前 田 野 目
"		持子沢	羽野木沢
"		毘沙門	"
"		"	"
"		長 富	山 成 高 猿 工
"		金 山	竹 谷 ヤ エ
"		竹 土	岐 関 浅 今 成 三 洪 山 藤 鹿 一 三 今 土 須 松 木 高 齋 長 金 品 大 大 長 長 新 伊 沢 山 山 成 高 猿 工
"		梅 中 小	田 泉 曲
"		七 七	館 田 姥
"		湊	稲 福 野
"		神 山	松 野 木 戸 高 野
"		"	前 田 野 目
"		持子沢	羽野木沢
"		毘沙門	"
"		"	"
"		長 富	山 成 高 猿 工
"		金 山	竹 谷 ヤ エ
"		竹 土	岐 関 浅 今 成 三 洪 山 藤 鹿 一 三 今 土 須 松 木 高 齋 長 金 品 大 大 長 長 新 伊 沢 山 山 成 高 猿 工
"		梅 中 小	田 泉 曲
"		七 七	館 田 姥
"		湊	稲 福 野
"		神 山	松 野 木 戸 高 野
"		"	前 田 野 目
"		持子沢	羽野木沢
"		毘沙門	"
"		"	"
"		長 富	山 成 高 猿 工
"		金 山	竹 谷 ヤ エ
"		竹 土	岐 関 浅 今 成 三 洪 山 藤 鹿 一 三 今 土 須 松 木 高 齋 長 金 品 大 大 長 長 新 伊 沢 山 山 成 高 猿 工
"		梅 中 小	田 泉 曲
"		七 七	館 田 姥
"		湊	稲 福 野
"		神 山	松 野 木 戸 高 野
"		"	前 田 野 目
"		持子沢	羽野木沢
"		毘沙門	"
"		"	"
"		長 富	山 成 高 猿 工
"		金 山	竹 谷 ヤ エ
"		竹 土	岐 関 浅 今 成 三 洪 山 藤 鹿 一 三 今 土 須 松 木 高 齋 長 金 品 大 大 長 長 新 伊 沢 山 山 成 高 猿 工
"		梅 中 小	田 泉 曲
"		七 七	館 田 姥
"		湊	稲 福 野
"		神 山	松 野 木 戸 高 野
"		"	前 田 野 目
"		持子沢	羽野木沢
"		毘沙門	"
"		"	"
"		長 富	山 成 高 猿 工
"		金 山	竹 谷 ヤ エ
"		竹 土	岐 関 浅 今 成 三 洪 山 藤 鹿 一 三 今 土 須 松 木 高 齋 長 金 品 大 大 長 長 新 伊 沢 山 山 成 高 猿 工
"		梅 中 小	田 泉 曲
"		七 七	館 田 姥
"		湊	稲 福 野
"		神 山	松 野 木 戸 高 野
"		"	前 田 野 目
"		持子沢	羽野木沢
"		毘沙門	"
"		"	"
"		長 富	山 成 高 猿 工
"		金 山	竹 谷 ヤ エ
"		竹 土	岐 関 浅 今 成 三 洪 山 藤 鹿 一 三 今 土 須 松 木 高 齋 長 金 品 大 大 長 長 新 伊 沢 山 山 成 高 猿 工
"		梅 中 小	田 泉 曲
"		七 七	館 田 姥
"		湊	稲 福 野
"		神 山	松 野 木 戸 高 野
"		"	前 田 野 目
"		持子沢	羽野木沢
"		毘沙門	"
"		"	"
"		長 富	山 成 高 猿 工
"		金 山	竹 谷 ヤ エ
"		竹 土	岐 関 浅 今 成 三 洪 山 藤 鹿 一 三 今 土 須 松 木 高 齋 長 金 品 大 大 長 長 新 伊 沢 山 山 成 高 猿 工
"		梅 中 小	田 泉 曲
"		七 七	館 田 姥
"		湊	稲 福 野
"		神 山	松 野 木 戸 高 野
"		"	前 田 野 目
"		持子沢	羽野木沢
"		毘沙門	"
"		"	"
"		長 富	山 成 高 猿 工
"		金 山	竹 谷 ヤ エ
"		竹 土	岐 関 浅 今 成 三 洪 山 藤 鹿 一 三 今 土 須 松 木 高 齋 長 金 品 大 大 長 長 新 伊 沢 山 山 成 高 猿 工
"		梅 中 小	田 泉 曲
"		七 七	館 田 姥
"		湊	稲 福 野
"		神 山	松 野 木 戸 高 野
"		"	前 田 野 目
"		持子沢	羽野木沢
"		毘沙門	"
"		"	"
"		長 富	山 成 高 猿 工
"		金 山	竹 谷 ヤ エ
"		竹 土	岐 関 浅 今 成 三 洪 山 藤 鹿 一 三 今 土 須 松 木 高 齋 長 金 品 大 大 長 長 新 伊 沢 山 山 成 高 猿 工
"		梅 中 小	田 泉 曲
"		七 七	館 田 姥
"		湊	稲 福 野
"		神 山	松 野 木 戸 高 野
"		"	前 田 野 目
"		持子沢	羽野木沢
"		毘沙門	"
"		"	"
"		長 富	山 成 高 猿 工
"		金 山	竹 谷 ヤ エ
"		竹 土	岐 関 浅 今 成 三 洪 山 藤 鹿 一 三 今 土 須 松 木 高 齋 長 金 品 大 大 長 長 新 伊 沢 山 山 成 高 猿 工
"		梅 中 小	田 泉 曲
"		七 七	館 田 姥
"		湊	稲 福 野
"		神 山	松 野 木 戸 高 野
"		"	前 田 野 目
"		持子沢	羽野木沢
"		毘沙門	"
"		"	"
"		長 富	山 成 高 猿 工
"		金 山	竹 谷 ヤ エ
"		竹 土	岐 関 浅 今 成 三 洪 山 藤 鹿 一 三 今 土 須 松 木 高 齋 長 金 品 大 大 長 長 新 伊 沢 山 山 成 高 猿 工
"		梅 中 小	田 泉 曲
"		七 七	館 田 姥
"		湊	稲 福 野
"		神 山	松 野 木 戸 高 野
"		"	前 田 野 目
"		持子沢	羽野木沢
"		毘沙門	"
"		"	"
"		長 富	山 成 高 猿 工
"		金 山	竹 谷 ヤ エ
"		竹 土	岐 関 浅 今 成 三 洪 山 藤 鹿 一 三 今 土 須 松 木 高 齋 長 金 品 大 大 長 長 新 伊 沢 山 山 成 高 猿 工
"		梅 中 小	田 泉 曲
"		七 七	館 田 姥
"		湊	稲 福 野
"		神 山	松 野 木 戸 高 野
"		"	前 田 野 目
"		持子沢	羽野木沢
"		毘沙門	"
"		"	"
"		長 富	山 成 高 猿 工
"		金 山	竹 谷 ヤ エ
"		竹 土	岐 関 浅 今 成 三 洪 山 藤 鹿 一 三 今 土 須 松 木 高 齋 長 金 品 大 大 長 長 新 伊 沢 山 山 成 高 猿 工
"		梅 中 小	田 泉 曲
"		七 七	館 田 姥
"		湊	稲 福 野
"		神 山	松 野 木 戸 高 野
"		"	前 田 野 目
"		持子沢	羽野木沢
"		毘沙門	"
"		"	"
"		長 富	山 成 高 猿 工
"		金 山	竹 谷 ヤ エ
"		竹 土	岐 関 浅 今 成 三 洪 山 藤 鹿 一 三 今 土 須 松 木 高 齋 長 金 品 大 大 長 長 新 伊 沢 山 山 成 高 猿 工
"		梅 中 小	田 泉 曲
"		七 七	館 田 姥
"		湊	稲 福 野
"		神 山	松 野 木 戸 高 野
"		"	前 田 野 目
"		持子沢	羽野木沢
"		毘沙門	"
"		"	"
"		長 富	山 成 高 猿 工
"		金 山	竹 谷 ヤ エ
"		竹 土	岐 関 浅 今 成 三 洪 山 藤 鹿 一 三 今 土 須 松 木 高 齋 長 金 品 大 大 長 長 新 伊 沢 山 山 成 高 猿 工
"		梅 中 小	田 泉 曲
"		七 七	館 田 姥
"		湊	稲 福 野
"		神 山	松 野 木 戸 高 野
"		"	前 田 野 目
"		持子沢	羽野木沢
"		毘沙門	"
"		"	"
"		長 富	山 成 高 猿 工
"		金 山	竹 谷 ヤ エ
"		竹 土	岐 関 浅 今 成 三 洪 山 藤 鹿 一 三 今 土 須 松 木 高 齋 長 金 品 大 大 長 長 新 伊 沢 山 山 成 高 猿 工
"		梅 中 小	田 泉 曲
"		七 七	館 田 姥
"		湊	稲 福 野
"		神 山	松 野 木 戸 高 野
"		"	前 田 野 目
"		持子沢	羽野木沢
"		毘沙門	"
"		"	"
"		長 富	山 成 高 猿 工
"		金 山	竹 谷 ヤ エ
"		竹 土	岐 関 浅 今 成 三 洪 山 藤 鹿 一 三 今 土 須 松 木 高 齋 長 金 品 大 大 長 長 新 伊 沢 山 山 成 高 猿 工
"		梅 中 小	田 泉 曲
"		七 七	館 田 姥
"		湊	稲 福 野
"		神 山	松 野 木 戸 高 野
"		"	前 田 野 目
"		持子沢	羽野木沢
"		毘沙門	"
"		"	"
"		長 富	山 成 高 猿 工
"		金 山	竹 谷 ヤ エ
"		竹 土	岐 関 浅 今 成 三 洪 山 藤 鹿 一 三 今 土 須 松 木 高 齋 長 金 品 大 大 長 長 新 伊 沢 山 山 成 高 猿 工
"		梅 中 小	田 泉 曲
"		七 七	館 田 姥
"		湊	稲 福 野
"		神 山	松 野 木 戸 高 野
"		"	前 田 野 目
"		持子沢	羽野木沢
"		毘沙門	"
"		"	"
"		長 富	山 成 高 猿 工
"		金 山	竹 谷 ヤ エ
"		竹 土	岐 関 浅 今 成 三 洪 山 藤 鹿 一 三 今 土 須 松 木 高 齋 長 金 品 大 大 長 長 新 伊 沢 山 山 成 高 猿 工
"		梅 中 小	田 泉 曲
"		七 七	館 田 姥
"		湊	稲 福 野
"		神 山	松 野 木 戸 高 野
"		"	前 田 野 目
"		持子沢	羽野木沢
"		毘沙門	"
"		"	"
"			

皆さんの相談室 お気軽にどうぞ

すべての相談は無料で、秘密は固く守ります。お気軽にご利用ください。

◎厚生年金相談

▷日時 毎月第2・4水曜日 9時30分～14時30分まで。

▷場所 産経会館5階

◎教育相談(予約必要)

お子さんの教育問題でお悩みの方はお気軽にご相談ください。

▷日時 5月22日から翌年2月までの毎週金曜日 13時30分～16時30分まで。

▷場所 市中央公民館

▷申し込み先 五所川原市字岩木町12
五所川原市教育委員会教育研修指導室
(☎35)2111番内線247番)

◎交通事故相談所

▷日時 毎月第2・4火曜日 10時～15時まで。

▷場所 市民相談室

◎心配ごと相談

▷日時 毎週水曜日 10時～15時まで。

▷場所 市民相談室

◎行政相談所

▷日時 毎週木曜日 10時～15時まで。

▷場所 市民相談室

◎人権相談

▷日時 毎週金曜日 10時～15時まで。

▷場所 市民相談室

◎市民相談室

▷日時 毎週月～金曜日 10時～15時まで。
(土、日曜日、祝日、12月28日～翌年1月4日を除く。)

計量器(はかり)の定期検査

商店、農業経営者などで計量器を使用している方は、年1回の定期検査を必ず受けてください。

▷注意すること

- ①検査当日は、通知書(はがき)、印鑑、検査料をご持参ください。
- ②検査を受けないばかりは、使用することができません。
- ③通知書記載の期日に検査を受けられない方は、他の場所でも受けられます。
- ④期間中に検査を受けないと県計量検定所(青森市)で受検しなければなりません。

実施期日	実施場所
5月25日 (月)	10:00～12:00 毘沙門・長富コミュニティセンター 13:00～15:00 コミュニティセンター飯詰
5月26日 (火)	10:00～15:00 五所川原市農業協同組合三好支所
5月27日 (水)	10:00～11:30 コミュニティセンター中川 13:00～15:00 津軽中央農業協同組合吹畑支所
5月28日 (木)	10:00～11:30 五所川原市農業協同組合栄支所 13:00～14:00 梅沢コミュニティセンター
5月29日 (金)	10:00～11:30 コミュニティセンター長橋 13:00～14:00 コミュニティセンター七和
6月1日 (月)	10:00～15:30 中央集会所(上平井町旧郵便局跡)
6月2日 (火)	10:00～15:30 同 上
6月3日 (水)	10:00～15:30 五所川原市民文化会館
6月4日 (木)	10:00～15:30 同 上

交通事故防止コンクール実施

青森県は、地域住民の力で多発する交通事故に歯止めを一と、6月から市町村別事故防止コンクールを実施することになりました。

これまで行われてきた死亡事故ゼロ〇〇日表彰などが「発生地主義、だったのに対し、」居住地主義、とするもので、県内で起こした事故はすべてその加害者の居住する市町村に算入する方式で初の試みです。

- ▷実施期間 6月1日から11月30日までの6か月間
- ▷期間中の事故点 事故点(1件10点)、死者点(1人100点)を積算し、これを当該市町村の人口、車両台数と対比して数値化、評価します。
- ▷表彰対象 旧三市、新五市、町、村のグループ別に行います。

悲惨な交通事故から愛する家族の尊い命を守るため、市民一人ひとりの自覚とご協力をお願いします。
(市交通防犯対策室)

「消費者の日」記念講演会

▷日時 6月1日(月)午前10時～12時ころまで。

▷場所 市中央公民館

▷講師 高橋みちよ先生

(東北女子短期大学教授)

▷テーマ 「家計費に占める食」

▷入場料 無料

交通災害共済

年額 350円

—家族そろって加入しましょう—

市役所の電話番号は(35)2111番

児童手当改正のお知らせ

4月1日から2人目の子どもに支給

▽受給資格者

昭和五十八年四月二日以後に生れた児童を含む十八歳未満の児童を二人以上養育していること。又は小学三年生終了前の児童を含む十八歳未満の児童を三人以上養育していること。

なお、児童については、自分の子どもである必要はありません。その子を養育

▽支給額

児童手当の額は、二人目の二歳未満(昭和六十二年四月一日現在)の子どもについては月額二五〇〇円、三人目以降小学三年生終了前の子どものについては、月額五〇〇〇円が支給されます。

迷惑をかけることになりま

山に入るときは次のこと

がらに注意しましょう。

(入山心得)

▽山には絶対一人で行かない。

▽自分の体に合った行動をし、からだ具合の悪いときには山に行かない。

▽地理のわからない山には行かない。

▽薄着をせず、雨具、マツ

▽新しい児童手当制度の実施方法

児童手当は、十八歳未満の児童を二人以上養育している人(そのうち一人以上が義務教育就学前の児童)に児童手当が支給されます。

なお、四月一日から実施しますが、段階的に支給対象が変わり、昭和六十三年四月からは、改正された制度が完成されます。

一年目(昭和六十二年四月一日から昭和六十三年三月三十一日までの間)

第二子分は、昭和六十二年四月一日現在で満四歳未満。

第三子以降分は、昭和六十二年四月一日現在で満九歳未満。

昭和六十三年四月一日からは、第二子以降義務教育就学前の児童が対象になります。

詳しいことは、市民課(内線二七六番)へどうぞ。

人権擁護委員制度を

ご存じですか!

六月一日は、人権擁護委員法が施行された日です。

私達のまちには、市長が推薦し法務大臣から委嘱された人権擁護委員がいます。

そして、いじめや家庭内のいざこざ、借地、借家、相続、登記、金銭貸借等の問題について無料で相談に応じています。

尾崎正雄(田町 34二六)

石井福太郎(鎌谷町 35三四八〇番)

高橋武一(藻川 36二七九四番)

対馬 郁夫(松島町 34三二二番)

木村 資(鎌谷町 34二九九三番)

小田桐一雄(元町 35二二九三番)

小笠原徳一(野里 29三〇六一番)

佐々木初海(吹畑 35一七七番)

一七七番

〇六一番

〇六一番

〇六一番

〇六一番

〇六一番

〇六一番

〇六一番

〇六一番

〇六一番

〇六一番

〇六一番

〇六一番

〇六一番

〇六一番

〇六一番

〇六一番

〇六一番

山菜採りの遭難事故防止

春の山菜採りのシーズンをむかえ、家族や友人たちと山にでかける人も多くなることと思います。

最近道路が整備され、車で山奥まで乗り入れるようになったこともあり、簡単な服装で気軽に山に入つて遭難する人が多くなりました。

遭難騒ぎになりますと、家族が心配するばかりでなく、捜索などで多くの人に

迷惑をかけることになりま

山に入るときは次のこと

がらに注意しましょう。

(入山心得)

▽山には絶対一人で行かない。

▽自分の体に合った行動をし、からだ具合の悪いときには山に行かない。

▽地理のわからない山には行かない。

▽薄着をせず、雨具、マツ

その他、食糧は多めに持つ。

▽集合場所や時間、コースなどをよく打ち合わせ、必ず守る。

▽山に入ったたら、お互いに呼び合つて位置を連絡しあう。

▽天候が悪くなつたら早めにきりあげる。

▽道に迷つたと思つたら、歩き回らないで、火をたくなど救助隊を待つ。



捜査活動にご協力を!!

犯罪を「見たら」

「聞いたら」110番!!

ドロボーの被害にあつたら

現場はそのまま「110番!!」

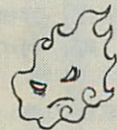
五所川原警察署

山火事注意!

たばこの

投げすて!

火事のもと



五所川原市

昭和62年度

海外開発青年募集

海外開発青年とは、中南米の国々で、日系の受入機関と三年間雇用契約を結び、その期間内に現地社会に定着するために必要な自分の適応性と将来計画を自ら確かめ、自己の技術・技能をもって日系社会の発展に参加することを目的とします。

▽資格 満二十歳以上三十五歳までで、短大・高専卒業以上の者及びこれと同等以上の知識・能力等を有すると認められる者

▽申込期間 六月一日から七月十日まで

▽受入先 本人の希望は尊重しますが、受け入れ先の職務・本人の技能などを考慮し、適材適所の決定を優先します。

▽募集人員 三十名

▽応募方法 所定の申込書を期日までに国際協力事業東北支部(仙台市一番町四丁目六一一 仙台第一生命タワービル十八階 〇二二(23)五一五(一番)へ提出してください。

募集説明会が開かれます。六月二十六日 午後六時三十分～八時三十分 青森市文化会館 四階 小会議室

採石業務管理者試験について

- ▽試験期日及び場所 六月二日(火)午前十時～午後十二時三十分まで。青森市中央一丁目十一、十八 県職員会館「八甲荘」
- ▽試験科目 (一)岩石の採取に関する法令(環境保全関係法令を含む)、(二)岩石の採取に関する技術的な事項。
- ▽受験願書締切 五月二十日(当日の消印有効)
- ▽受験手数料 五千四百円
- ▽申し込み 返信用封筒(郵便番号、あて名を記載し、百二十四円切手をはったもの)を同封し、採石業務管理者試験と明記のうえ、県商工労働部鉱政保安課まで。
- ▽お問い合わせ先 県商工労働部鉱政保安課砂利採石班(☎〇一七七(2)一一一番)

年金住宅融資

- ▽利用できる方 厚生年金保険に加入している方で、加入期間が三年以上ある方。
- ▽資金の使途 新築住宅、マンション、建売住宅、中古住宅の購入資金および増改築などの住宅改良資金。
- ▽融資金額 所要資金の八〇%以内で、加入期間などにより最高一千五百万円まで。
- ▽融資利率 年五・〇〇%(一般貸付)「昭和六十二年四月一日現在」
- ▽返済期間 五年から三十五年まで。「ステップ返済」も利用出来ます。
- ▽申込受付期間 七月十日まで。

(62年度一回次)

公開セミナーのご案内

(社)五所川原青年会議所のまぢづくり委員会では、まぢづくりは人づくりにからと、おもいやりセミナーを開催いたします。

どうぞお気軽にご参加ください。

▽テーマ 親から子へのメッセージ

▽日時 五月十八日(月)午後七時

▽場所 産経会館五階

▽講師 石本俊夫氏(福島女子短期大学講師)

▽入場料 無料

※当日は、保母さんを配置して保育の準備をしております。

朝市開設

新鮮な野菜、魚などを市価より安く皆さんの食卓に提供しようという恒例の朝市です。

▽開設期間 六月一日～十一月三十日

▽開設時間 午前四時～七時

▽開設場所 市庁舎前お祭り広場



バレーボール

会員募集

楽しいバレーボールをしたい方、集まって見ませんか。初心者大歓迎。

▽日時 五月二十七日(水) 午前十時～十二時まで

▽場所 市民体育館

▽対象 女性に限る

▽連絡先 佐々木和子さん (市内雑田 ☎〇三三四 三番)まで。

たばこは、市内から買って!

あなたが市内でたばこをお買い求めになりますと、たばこ消費税が市の収入(たとえばマイルドセブン1箱につき41円40銭)になります。



6月の保健センター相談日

6月5日、12日、19日、26日です。(毎週金曜日)

時間：午前10時～午後3時まで

内容：保健婦が血圧測定、尿検査を含めた健康相談に応じますので、赤ちゃんからお年寄りまで、お気軽にご利用ください。

お問い合わせは、市衛生課へ(☎内線268番)。

市役所の電話番号は☎2111番



乳幼児の健康診査

▷場所 市保健センター

▷受付時間 午後1時～1時30分まで。

▷持参するもの 母子健康手帳、バスタオル。3才児は尿検査も行いますので当日きれいに洗った小ビンに尿を入れて持ってきてください。

※注意 6ヵ月児健康相談の際に、神経芽細胞腫(小児がん)の検査セットを配付しますが、当日つごうで来れない場合は検査セットを衛生課窓口にて配付しますので6ヵ月、7ヵ月の赤ちゃんはぜひおいでください。

なお病氣療養中(特に伝染性の病氣)のお子さんへはご遠慮ください。

月令	対象児	期日	内容
3ヵ月児	S62年2月生	6月9日(火)	健康診査
6ヵ月児	S61年11月生	6月16日(火)	健康相談
1才児	S61年5月生	6月22日(月)	健康相談
1才6ヵ月児	S60年12月生	6月23日(火)	健康診査
3才児	S59年2月生	6月18日(木)	健康診査

お問い合わせは、市衛生課(☎内線268、272番)へどうぞ。

みんなの健康教室

医師会と家庭を結ぶ「みんなの健康教室」が次の日程で開かれます。お気軽においで下さい。

今回のテーマは「腎臓の話」

▷日時 5月22日(金) 午後1時

▷場所 市保健センター

▷講師 永田紀四郎先生

(永田小児科医院長)

みんなの健康教室テレフォンサービス実施中 ☎350311番

▷主催 北五医師会・市民保健協議会

休日・夜間の急病は

在宅医師の照会は消防署へ

☎35-2019番

(救急医療部会)

62年度歯の健康診断室

▷日時 6月6日(土) 午前10時～午後3時

▷場所 市保健センター

▷内容 歯の無料健康診査、歯の磨き方指導、図画・ポスターの展示、歯科関連物の展示

▷主催 県歯科医師会北五支部会

▷後援 市民保健協議会・五所川原市



川柳

川柳岩木吟社

万国旗国の名前は知りません

老漁夫の皺も伸びてる大漁旗

産声の一つ地球を朝にする

置いて来た理由も悲しい孤児の母

あてやかに生きれば寡婦にささる風

日が昇る頃には母の音がする

狂六

一策

しげる

牧星

ふじや

順坊